

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 5年 4月20日

学) 明照学園 明照幼稚園

1. 本園の教育目標

◎器用に暮らせる子ども ◎気持ち良く暮らせる子ども ◎安全に暮らせる子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園教育要領をふまえ、1人ひとりの幼児を大切にした保育を行い、その姿を保護者と共有する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育の質の向上のために、園内研修を充実させる	C	各期ごとに、写真やエピソードを元に幼児の成長を可視化し考える研修会を開催した。
2	子どもの育ちの姿を保護者と共有し、理解を得ることで子どもの様々な可能性を知らせる	B	学年だよりやホームページ、動画などで子ども達の姿を知らせ理解を促した。
3	夏休み預かり保育を充実させ、子どもの居場所と活動量を確保する。	B	多くの子ども達の参加があり、季節ならではの活動や学年を超えた交流もあり、コロナ渦下での居場所作りに役立った。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	① これまでの研修では「本園の教育の可視化」「保育記録による幼児理解」について中心に行っている。それらは一定達成されていると考えるが、ここ数年で教員の入れ替わりがあり、現在の教員が研修で何を学びたいかについて改めて思いを受けとめる必要がある。 ② については保護者からも好評だが、行事中心のきらいがあったので、より多彩な子どもの姿を伝えていく必要性が指摘された。 ③ については量的なねらいは達成されたが、保育内容などはなお改善の余地があると考えられる。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	研修の取組み	毎回1つのテーマを定め、4～5人のグループでそれぞれの事例や経験からディスカッションを行い、それぞれの子ども理解や保育観を深めることを目指す
2	テーマの偏り	行事に限らず日常の姿の動画を作成しつつ、引き続き学年だより等で子どもの育ちの姿を保護者と共有していく。
3	内容の改善	夏休み預かり保育においても、製作等予め用意しておく。また担当職員を増員する(2名→3名)

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ①については、教員の質の向上ももちろん大切だが、教員どうしの連携を深めるなどのマネジメントに関する研修も行うのは良いと思う。
- ②、③については、とても充実した内容で実施されていると感じている。